

季節を楽しもう 8月 涼やかで清らかに咲く蓮の花

Be Life Design



蓮は泥より出でて泥にまみれず

真夏の太陽に向かうように凛と咲く蓮。その見た目とは裏腹に生息するのはドロドロした泥の中。泥(俗世)に生まれても大輪の蓮華(悟り)を咲かせる蓮は、欲にまみれることなく真っ直ぐに清らかに生きる人間の理想の姿とされています。ちなみに同じような意味の「泥中(でいちゅう)の蓮」は仏教から来たことわざです。

忙しさや思うようにモノゴトが進まない時は、どうしてもイライラしたり不安になりやすいもの。こんな時には、蓮からパワーを貰ってみるのはいかがでしょう？暑い日差しの中でただ咲いている姿は、まさに周りに影響されることなく、「今やるべきコト」を体現しているかのようですから。ただし、蓮を愛でに行く時は、なるべく早い時間が

良いですよ。蓮の花は早朝から咲きお昼頃にはしぼんでしまいます。蓮が咲く公園やお寺を調べて、「蓮見のお散策」の休日なんて、ちょっと素敵じゃないですか！？



お盆と蓮 ご先祖様があの世(浄土)からこの世(現生)に帰って来られ、ご先祖様の霊を供養するお盆。お盆の飾りには蓮を多く目にします。お盆のお供えの水の子(きゅうりと茄子をさいの目にしたもの)は蓮の葉を敷くならわしがあります。(里芋の葉で代用したり、手に入らなければなくても大丈夫。)茄子は切った後でサッと熱湯に通し冷水にとると変色しにくいそうです。お試しあれ。



蓮の葉 蓮の葉は撥水効果が高く

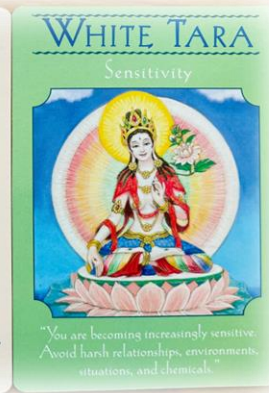
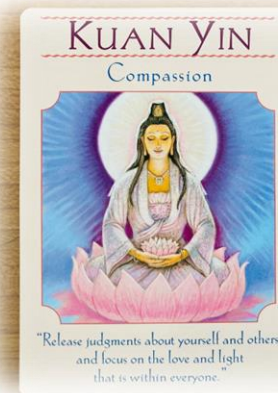
この原理は様々な撥水技術に応用されています。まさに自然から私たちは多くの恩恵と学びを得ていますね！また蓮の葉の水を閼伽(あか)と言い、仏教では穢れを祓う水として供養のための水も閼伽と呼ぶそうです。



次ページは蓮を暮らしで活かすアイデアをご紹介します

蓮 & 睡蓮 → 蓮華（レンゲ） 蓮は仏教の発祥地インドの国花であり、仏教やヒンドゥー教で神聖な花とされています。蓮と同じ水生植物に睡蓮があり、蓮華（レンゲ）は蓮と睡蓮の総称です。仏像の台座には蓮華の形をした蓮華座がよく用いられています。またヒンドゥー教の神様も蓮と一緒に描かれています。

【女神のガイダンスオラクルカードより】 左：観音 慈悲と救済の菩薩
右：ホワイトタラ 純粹・成熟・慈悲の象徴



暮らしの中で蓮を用いる・楽しむ

蓮は飲み物として味わうことができます。蓮のお茶は大きく分けて3種類。花と緑茶をブレンドした蓮花茶、葉の蓮葉茶、蓮の芯を乾燥させた蓮芯茶。ほのかに甘い香りと爽やかな風味が相まり上品な味で飲みやすいです。ホットでもアイスでも美味しいです。



20年以上前の台湾みやげの茶器→

シンプルな服に合わせるとコーディネート
のアクセントになり、
和装にもマッチする
蓮柄のバッグ。

アジア雑貨店などで
見かけます。



お茶よりも身近なのは、レンコンではないでしょうか？
1年を通して頂けますが、季節によって味は異なります。旬は
うまみが増す秋で、6月頃の新レンコンはシャキシャキした食感。
この時期のレンコンは酢の物にするとおいしく、ビタミンCも
補給できますよ。（お水にさらす時は短時間で）

素敵な蓮の仏具

最近の仏具や仏壇はモダンなデザインが増えています。これらは職人さんの手で丁寧に創られたものもあります。せっかくなので、仏に限定せずに新たな使い方を発見してみるのも楽しそうですね！



水に浮かべて楽しむ
蓮のキャンドル



oirinは澄んだ音で
空間の浄化に良さそう。
そして癒されます。
（りん棒が蓮）